

# Snippet（スニペット）

## Snippet（スニペット） と Emmet（エメット）

Snippet（スニペット）は「切れ端」という意味、プログラミングでは「再利用・共有可能なコードの断片」を意味します。

### Snippet の登録

Snippet 登録しておくことで、エディタ上ですぐに簡単に呼び出して実行できることが特徴です。VSCode であらかじめ登録されていますが、自分でカスタマイズすることもできます。

### Emmet との違い

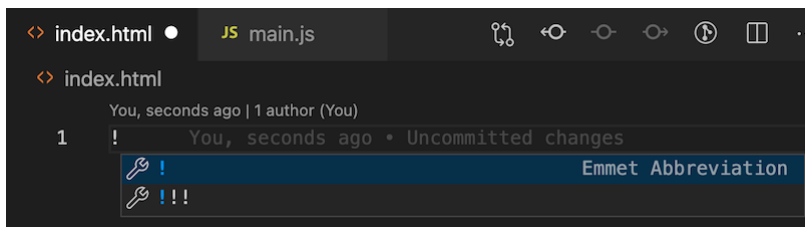
Emmet は独自の記述方式で HTML をより効率よくコーディングための機能の 1 つです。機能呼び出すという点では、Snippet と同じ意味ですが、HTML に特化しているのが特徴です。

## HTML タグを一撃で入力する

HTML タグを Emmet を使って入力してみましょう。まず VSCode のエディタ上で「index.html」ファイルを開き編集します。

### HTML タグの Emmet 「!」を使う

「!」を入力すると候補が出てきたら「!」を選択した状態で Enter します。



HTML タグが入力されました。

```
1  <!DOCTYPE html>
2  <html lang="en">
3  <head>
4    <meta charset="UTF-8">
5    <meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="IE=edge">
6    <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
7    <title>Document</title>
8  </head>
9  <body>
10
11 </body>
12 </html>
```

# Snippet(Emmet) で HTMLタグ入力の練習

キーボード入力の途中で候補が表示され、選択した候補で Enterキー または Tabキー を押すと自動入力できます。

HTML の Snippet はデフォルトで一般的な HTMLタグに対応しており、候補が表示されます。（タグによってはプラグインが必要になります）

## HTML基本タグ

h1 を例に Snippet を利用してみましょう。index.html ファイルに h1 を入力してすると h1 候補が表示されるので Enter します。

```
<title>Document</title>
</head>
<body>
  h1| You, seconds ago • Uncommitted changes
  </bo Emmet Abbreviation
</html>
```

h1 タグが入力できました。

```
<h1></h1>
```

続けて h1 タグの中に文字を入力してみます。

```
<h1>プロフィール</h1>
```

## 外部CSS読み込み

link タグで外部ファイル「style.css」を読み込みます。

```
link:css
```

link と入力すると link:css が候補に出てくるので選択して Enter します。

```
<title>Document</title>
link:css You, seconds ago • Uncommitted changes
/head> Emmet Abbreviation
body>
```

link タグで sytle.css を読み込みました。href は必要に応じてファイル名を変更します。

```
<title>Document</title>
<link rel="stylesheet" href="style.css">
</head>
```

## 親子要素（Parent & Child Element）

HTMLタグを入子にして入力することができ、「>」を使うと親子要素で入力できます。

```
Parent Element>Child Element
```

### 例：div の中に h2 を入れる

```
div>h2
```

結果

```
<div>
  <h2></h2>
</div>
```

## 同階層の要素

「+」で同階層で入力

例：div と p タグを入力

```
div+p
```

結果

```
<div></div>
<p></p>
```

## リピートを利用

「\*数字」でリピートして入力 「ul」の中に 「li」が3つ作成

```
ul>li*3
```

結果

```
<ul>
  <li></li>
  <li></li>
  <li></li>
</ul>
```

## id プロパティ

#（シャープ）でid プロパティを指定します。

```
div#message
```

結果

```
<div id="message"></div>
```

## class プロパティ

. (ピリオド) で class プロパティを指定します。複数の class を続けて指定することもできます。

```
button.btn.btn-primary
```

結果

```
<button class="btn btn-primary"></button>
```

## 連番

\$ で 連番、\*数字 で繰り返し数を指定します。

```
div.item_$*3
```

結果

```
<div class="item_1"></div>
<div class="item_2"></div>
<div class="item_3"></div>
```

## プロパティ 複数指定

[] の中にプロパティを key=value 形式で複数指定できます。

```
img[title="title" alt="image name"]
```

結果

```
<img src="" alt="image name" title="title">
```

## 要素（Element）にテキストを入力

{ } で タグ内のテキスト入力します。

```
a{リンク}
```

結果

```
<a href="">リンク</a>
```

## 上の階層をもどる

^（キャレット） でひとつ上の階層に戻ります

```
div>h2+div^ul>li*3
```

結果

```
<div>
  <h2></h2>
  <div></div>
</div>
<ul>
  <li></li>
  <li></li>
  <li></li>
</ul>
```

## グループ

() でグループ化し、+ で複数グループをつなげます。

```
(div#message>h2+div)+(div.items>ul>li*2)*2
```

結果

```
<div id="message">
  <h2></h2>
  <div></div>
</div>
<div class="items">
  <ul>
    <li></li>
    <li></li>
  </ul>
</div>
```

当サイトの教材をはじめとするコンテンツ（テキスト、画像等）の無断転載・無断使用を固く禁じます。これらのコンテンツについて権利者の許可なく複製、転用等する事は法律で禁止されています。尚、当ウェブサイトの内容をWeb、雑誌、書籍等へ転載、掲載する場合は「ロジコヤ」までご連絡ください。